

(1)

整地工、月末にも発注

大平町 医療福祉モール整備事業

大平町は6日までに、複
 数科の診療所を集積した医
 療福祉モール(富田地内)
 の整備のうち、町施行の基
 盤整備となる敷地の整地工
 を、今月下旬にも指名競争
 入札で発注する方向で準備
 を進めていることを明らか
 にした。工事は敷地の全体
 的な敷き均しとなり、発注
 見直しには「医療福祉モ
 ール整地工事」として盛り込
 まれた。工期は約130日

間、今年度創設された医療
 福祉モール事業特別会計に
 は、7537万円(他工事
 分含む)を計上した。
 医療福祉モールの整備地
 は、町中心部の役場南東に
 位置しており、敷地面積は
 約1万7000平方メートル。北
 側は国道小山大平線に面
 し、東武鉄道新大平下駅に
 も近く、交通便利性に恵ま
 れている。

は、町の人口が増加傾向を
 示している反面、町内に総
 合病院をはじめ、小児科、
 眼科、皮膚科などの専門科
 病院がなく、町民からも設
 置を望む強い要望が寄せら
 れていたことから、複数科
 の診療所等を集積した総合
 的な医療・福祉拠点として
 整備することになった。

整備に際しては、施設(建
 築物)の設計・施工・管理
 運営を担う事業者の選定
 に、プロポーザル方式を導
 入。既に、ファーマシー中
 山(株)(栃木市)を代表事業
 者とするグループ(構成事
 業者11(株)パナホーム北関
 東、(株)荒井設計、エフビ
 介護サービス(株)を選定済
 み。

今月下旬にも発注される
 整地工は、建築物整備に先
 立つ基礎整備として町が施
 行。面積約1万2300平
 方メートルの重機による敷き均し

が主体となり、大規模な盛
 土等は伴わない。しかし、
 現在敷地にはナラ、サク
 ラ、マツなど多くの立木が
 あることから、外周部の
 木々は緑地として残すもの
 の、それ以外で施設建設を
 阻害するものは伐採・伐根
 した上で敷地を均す。
 なお町では今年度、整地
 工に先立ち、敷地東側から
 南側を走る外周道路とな
 る、町道57-1号線の拡幅
 改良工事を2分割(第1工



区120メートル、第2工区13
 8・3メートルで発注済み。
 第1工区は毛利建設(株)
 (大平町)が1595万
 円、第2工区は(株)布施木建
 興(同)が1800万円で
 受注した。いずれも、全幅
 9メートル(車道3メートル、片
 側歩道3メートル)の道路に仕上

げる。
 また、ファーマシー中山
 グループが建設する施設は
 複数棟となるもようだが、現
 時点では具体的な着工時期
 等は不確定だが、来年12月
 の一部オープンを目指し
 て、今後工事が進められて
 いくもよう。

日本工業経済新聞に、大平町の「医療福祉モール」
 整備事業についての記事が掲載されました。

平成21年11月7日 日本工業経済新聞